

記入例

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 山形市長

提出者

住所 山形県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

氏名 株式会社〇〇〇〇

代表取締役 山形 一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇〇〇-△△△-□□□

押印省略可能

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

株式会社〇〇〇〇

事業場の所在地

山形県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

計画期間

〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇年〇〇月〇〇日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類

総合工事業

日本標準産業分類(総務省統計局)の区分を記入してください。

②事業の規模

〇〇〇〇〇万円

建設業の場合:元請完成工事高(前年度実績)
製造業の場合:製造品出荷額(前年度実績)
医療機関の場合:病床数(前年度末時点)
などの業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入してください。

③従業員数

〇〇人

④産業廃棄物の一連の処理の工程

排出する産業廃棄物の種類ごとに工程(中間処理、最終処分、再生利用等)を記入してください。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

**管理体制図には産業廃棄物と各部署との役割が分かるものを記入すること。
書ききれない場合は、「別紙のとおり」とし、別紙として添付すること。**

産業廃棄物の種類が3種類以上ある場合は、書ききれないため、「別紙のとおり」とし、別紙で提出すること。以下同様とする。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行った。(がれき類) ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行った。(汚泥)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取組みを実施予定 ・〇〇〇〇〇〇により発生を抑制する。(がれき類) ・〇〇〇〇〇の設備を更新する。(汚泥)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・〇〇〇〇、△△△△、□□□□はそれぞれに分別、保管をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・〇〇〇〇を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) •〇〇〇〇を再利用 •〇〇〇〇を再使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) •〇〇〇〇を行う予定。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	〇〇〇 t
(これまでに実施した取組) 〇〇のため、△△は実施していない。 〇〇施設による〇〇を行った。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	〇〇〇 t
(今後実施する予定の取組) •〇〇より効率の向上を図る。			

記入すべき事項がない場合は「-」を記入してください。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・〇〇のため、実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	優良認定処理業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	再生利用業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・再資源化率の高い業者を選定している。			

優良産廃処理業者は、平成22年度の法改正で新しく設けられた制度です。優良処理業者は許可証の右上に「優良」の表示がされています。

認定熱回収業者は、平成22年度の法改正で新しく設けられた制度です。認定を受けた熱回収業者は認定書を保有しています。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	再生利用業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・委託処理業者には定期的に現地確認を実施する。 			
※事務処理欄			

備考欄をよく読んで、作成してください。

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。